

2008年10月29日
イオン北海道株式会社

**11 / 1(土)から、イオン北海道本社の暖房を低めに設定
“フリース・ピズ”を実施いたします**

2012年度までにCO₂排出総量を2006年度対比で30%削減するという「イオン温暖化防止宣言」を本年3月に策定したイオンは、本社・事業所などの事務所において保温性があり軽く動きやすいフリースジャケットを着用して業務を行い、暖房の温度をこれまでの23度から20度に設定する取り組み“フリース・ピズ”を新たに提案いたしております。

イオン北海道におきましても、地球温暖化防止の取り組みの一環として、本社の従業員が、プライベートブランド「トップバリュ フリース」を着用し、館内の暖房温度を約3度下げる取り組みを実施いたします。

財団法人省エネルギーセンターによると、長袖のシャツとズボンを着用したときの快適な室温は22度ですが、その上に長袖のセーターを1枚着ると室温を20度にしても快適に過ごせるとの見解です。イオンでは軽量で保温性が高く、丈夫で着脱も容易なフリースジャケットの着用が冬季に適したビジネススタイルとして提唱し、率先して実行してまいります。

記

1. 実施期間 : 11月1日(土)から2月28日(土)まで
2. 実施対象 : イオン北海道(株)本社従業員
3. 内 容 : 本社事務所従業員が上記期間中、各種「トップバリュ フリースジャケット」を着用して業務を行います。それにより事務所内の暖房設定温度をこれまでの約23度から3度前後下げることを実現します。(設定温度は時刻や外気温により変更する場合がございます)
4. 実施による効果 : 約820キロのCO₂削減となります。
(一般家庭約40軒が1シーズン暖房を20度にして削減した場合とほぼ同等です)



着用するトップバリュ フリースジャケットの一例

